

平成25年度 清瀬市立 清瀬第二中 学校 学校評価計画表

学校教育目標		愛情(より豊かな 心を培う) 学力(より深く 自ら学ぶ) 勤労(よりよくはたらき 責任をはたす) 健康(よりたくましく 心身をきたえる)				
目指す学校像(ビジョン)						
【目指す学校像】		1. 確かな学力を身につける(小学校との連携を深め繋ぎを大切に共同歩調で学力を高める) 2. 自己実現に向けて努力する(キャリア教育を通して将来について考え、社会に出て通用する生徒を育てる) 3. 豊かな心や健やかな体を育成する。(生命尊重の教育を実践し、全教育活動を通じて心身を鍛える)				
【目指す生徒像】		1. 豊かな情操を育む生徒 2. 自分で考え判断し行動する生徒 3. 社会性のある生徒 4. 心身ともに健康な生徒				
【目指す教師像】		1. 共に力を出し合う教師 2. 共に汗を流す教師 3. 自らを高める教師				
前年度までの学校経営上の成果と課題						
1. 今年度は異動が少なかったが若手が増え一生懸命である。2・3年生の一部生徒が落ち着かないという課題はあるが、自ら意欲的に学ぶという姿勢を育みたい。 2. 生活態度については地域からの注意も多く、基本的な生活習慣の確立という課題がある。生徒理解に努め、協働して粘り強く指導する。保護者や地域と連携して丁寧な指導を心掛ける。						
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	努力目標(評価基準)	成果目標(評価基準)	
豊かな心の育成	心の教育の充実を図るため、職場体験等の活動を推進する 生命尊重の精神を育む	様々なキャリア教育を実践して、働くことのたいへんさと、協力することの大切さを学び、思いやりの心を育てる	1年生・2年生で職場体験を3日間ずつ実施する	4 全学年でキャリア教育を年間10回以上実施 3 全学年でキャリア教育を年間8回以上実施 2 全学年でキャリア教育を年間6回以上実施 1 全学年でキャリア教育を年間6回未満実施	4 生徒の満足度の評価A・Bが80%以上 3 生徒の満足度の評価A・Bが70%以上 2 生徒の満足度の評価A・Bが60%以上 1 生徒の満足度の評価A・Bが60%未満	
		組織的な対応に努め、いじめや不登校生徒のない学校にする	年3回のふれあいアンケートを活用し、いじめの実態を把握する また、組織力を高め、いじめや不登校の解消に取り組む	4 調査と面談を6回以上 3 調査と面談を5回 2 調査と面談を4回 1 調査と面談を3回	4 生徒の学校生活が楽しい評価A・B80%以上 3 生徒の学校生活が楽しい評価A・B70%以上 2 生徒の学校生活が楽しい評価A・B60%以上 1 生徒の学校生活が楽しい評価A・B50%以上	
	確かな学力の向上	各教員が授業の大切さを自覚し、授業規律と学習習慣の定着を図り、生徒個々の学力を向上させる	授業規律を確立し、分かる楽しい授業を行う	校内研究を通して特別支援教育を理解し、授業規律の確立と授業の工夫を行い授業力を高める。	4 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上 3 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが70%以上 2 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上 1 教員の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満	4 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが80%以上 3 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが70%以上 2 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが60%以上 1 生徒の授業評価が4段階評価でA・Bが60%未満
		生徒個々の能力を伸ばす チャレンジ精神を育てる		自ら挑戦する気持を育て、漢字検定、数学検定、英語検定などを実施する	4 年間検定8回以上実施 3 年間検定6回以上実施 2 年間検定5回以上実施 1 年間検定5回未満実施	4 生徒の受験延べ人数500人以上 3 生徒の受験延べ人数400人以上 2 生徒の受験延べ人数300人以上 1 生徒の受験延べ人数300人未満
健やかな体の育成	特別活動や体育的行事を通して健やかな体の育成を図る	部活動や地域でのクラブ活動などに、より多く参加して体力向上を図る	多くの生徒の部活動への参加を図る。地域のクラブなどでの活動でもいから運動習慣を育てる。	4 教職員の取り組み評価がA・Bが80%以上 3 教職員の取り組み評価がA・Bが70%以上 2 教職員の取り組み評価がA・Bが60%以上 1 教職員の取り組み評価がA・Bが60%未満	4 部活動や地域クラブへの生徒の加入率80%以上 3 部活動や地域クラブへの生徒の加入率75%以上 2 部活動や地域クラブへの生徒の加入率70%以上 1 部活動や地域クラブへの生徒の加入率70%未満	
		運動会、新体力テスト、マラソン大会に向けて意識を高め、学校全体で生徒の体力向上を図る	授業や自主トレでも持久走に取り組む、全生徒のマラソン大会参加を目指す	4 自主練習を20回以上実施 3 自主練習を15回以上実施 2 自主練習を10回以上実施 1 自主練習を10回未満実施	4 マラソン大会への生徒の参加率90%以上 3 マラソン大会への生徒の参加率85%以上 2 マラソン大会への生徒の参加率80%以上 1 マラソン大会への生徒の参加率80%未満	
本校の特色①	補習授業を実施し、生徒の基礎学力の向上を図る	家庭学習の習慣化を目指すとともに、基礎・基本の定着を図る	授業を活用し、数学・英語の基礎力の定着を図る 放課後の補習授業を行う また、家庭学習の習慣化を図る	4 補習授業を年間30回以上の実施 3 補習授業を年間25回以上の実施 2 補習授業を年間20回以上の実施 1 補習授業を年間10回未満の実施	4 生徒の参加人数120人以上 3 生徒の参加人数100人以上 2 生徒の参加人数80人以上 1 生徒の参加人数80人未満	
		夏季休業中になるべく多く補習授業を実施し、基礎・基本の定着を図る	長期休業中に各学年でなるべく多く補習授業を実施する	4 各学年で10日以上補習授業を実施 3 各学年で8日以上補習授業を実施 2 各学年で6日以上補習授業を実施 1 各学年で6日未満の補習授業を実施	4 各学年の参加申込人数50人以上 3 各学年の参加申込人数40人以上 2 各学年の参加申込人数30人以上 1 各学年の参加申込人数30人未満	
本校の特色②	生徒会活動の活性化を図り、広く東日本大震災の被災地である東北や世界に目を向けて具体的な活動を実践する。	二中の主人公は生徒自身であることを自覚し、グリーン運動、あいさつ運動、リサイクル運動に積極的に参加する	全校規模でグリーン運動、あいさつ運動、リサイクル運動を行う	4 グリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を30回実施 3 グリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を20回実施 2 グリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を15回実施 1 グリーン運動・リサイクル運動・あいさつ運動を10回実施	4 生徒の参加人数500人以上 3 生徒の参加人数300人以上 2 生徒の参加人数200人以上 1 生徒の参加人数100人以上	
		広く東北や世界の子ども達の現状を理解し、具体的にできることを実践する	年間2回回の街頭募金を東北の義援金として実施する 東日本大震災の勉強を実施して募金活動により多くの生徒の参加を促す	4 東日本大震災について理解・評価A・Bが70%以上 3 東日本大震災について理解・評価A・Bが60%以上 2 東日本大震災について理解・評価A・Bが50%以上 1 東日本大震災について理解・評価A・Bが50%未満	4 生徒の延べ参加人数500人以上 3 生徒の延べ参加人数400人以上 2 生徒の延べ参加人数300人以上 1 生徒の延べ参加人数200人以上	